

がん化学療法指示書

登録番号 387

登録日 2023/11/22

レジメン名	CBDCA+PTX+ニボルマブ療法(術前)
診療科・対象疾患	(呼)非小細胞肺癌の術前補助療法
投与間隔	3週毎
投与サイクル数	3コース

Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
オブジーボ	ニボルマブ	360mg/body	Day1
パクリタキセル	パクリタキセル	200mg/m ²	Day1
カルボプラチン	カルボプラチン	AUC 5(MAX6)	Day1

治療内容	滴下順	抗がん剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール						
							day1	day21	
注射	Rp1		生理食塩液	100ml	任意	ルート確保・フラッシュ用	●						
	Rp2	癌	オブジーボ(ニボルマブ)	360mg	30分	点滴静脈メイン	●						
			生理食塩液	64mL		総量100mLにする							
	Rp3		生理食塩液	50mL	15分	経過観察用	●						
	Rp4		パロノセトロン注(0.75mg)	1袋	15分	点滴静脈メイン	●						
			デキササート注(6.6mg)	1瓶									
			ファモチジン(20mg)	1本									
	Rp5	癌	パクリタキセル	200mg/m ²	180分	点滴静脈メイン	●						
			生理食塩液	500mL									
	Rp6	癌	カルボプラチン	AUC 5(MAX6)	60分	点滴静脈メイン	●						
			生理食塩液	250mL									
	その他必要薬剤	・レスタミンコーワ10mg:5錠分1 ルートキープ時に内服(day1) ・アプレピタント125mg:1cap分1 ルートキープ時に内服(day1) ・アプレピタント80mg:1cap分1 朝食後に内服(day2,3)											
総投与時間	5時間5分												
血管外漏出リスク	パクリタキセル:起壊死性抗がん剤 カルボプラチン:炎症性抗がん剤 オブジーボ(ニボルマブ):非壊死性抗がん剤												
投与時の注意事項	パクリタキセルはアルコール過敏の有無を確認する オブジーボ(ニボルマブ)、パクリタキセルはフィルター付きルート要												
備考欄	Infusion Reaction Grade2の場合、オブジーボ(ニボルマブ)の投与を直ちに中止する。1時間以内に回復する場合には、投与速度を50%減速して再開する。 Infusion Reaction経験例では、次回より投与30分前に以下薬剤で前処置を行う。 レスタミンコーワ10mg 5錠 アセトアミノフェン300mg 2錠												